

安元二年七月日

大介藤原朝臣

沙田郡  
豊田郡

〔藝藩通志八十七〕豊田郡 疆域形勢 風氣沿革附

豊田郡は國の東邊にありて備後と界す、藩府を距ること十三里餘、當郡の名、延喜式拾芥抄には沙田サタとあり、倭名抄の註に今沙改豊とあり、嘉名に改められしなるべし、郡の廣四里、東は沼田下村より、西は田萬里村に至る、袤三里半、南は忠海村より、北は大草村に至る、此餘海上生口大崎、大長豊島などの諸島、みな當郡に屬す、四隣東北は備後國御調、世羅、三次三郡、南は海上にて、伊豫の島嶼に接す、西は賀茂、高田二郡なり、沼田本郷驛を郡本とす、略中

按に倭名抄所載の郷名によりて考るに、上古の豊田郡は西北の方のみにて、東南の地過半は沼田郡なり、中古いかなる故にや、沼田の名を廢して、其地を豊田に併せければ、當郡の地は大に上古の地に増しぬ、又入野のあたりは、古賀茂郡に屬し、造賀も亦賀茂郡造賀村の一谷別れて、此郡に入りて一村をなせり、又土所小林中野三村を今土倉郷とよぶ、此地は御調郡羽倉村に連りて舊は一郷のよし、然ば昔は土倉郷は御調郡に屬せしが、抑御調の羽倉村當郡に入しにや、又吉名木谷二村離れて賀茂郡の内に在ること亦疑べし。

〔文德實錄五〕仁壽三年十月癸酉、安藝國佐伯、山縣、沙田三郡、今年徭役恤窮民也、

〔倭名類聚抄八〕安藝國 沼田郡 今有 沼田 船木布奈 安直安知 眞良新良 梨葉奈之 郡宇

賀茂郡 賀茂 志芳之波 造果佐宇 高屋多加 入農伊伊高山寺 訓養也萬高山寺 香津 木縣

大弓

安藝郡 漢辨○高山寺彌理美利河内知 田門多土幡良波良 安藝 船木布奈 養隈也乃 安滿安

萬驛家 宗○宗高山寺本作宇山